

里山自然学校、農業体験など通じ放棄地を減らす地元農家を支援

26. 漆の里山【鹿児島県始良市蒲生町】

範	囲	鹿児島県本土のほぼ中心部に位置する集落																					
所	在	鹿児島県始良市蒲生町漆																					
生	物	地	理	区	分	シイ・カシ萌芽林																	
環	境	要	素	水田()、二次林、草地、畑、小川・水路、ため池、池沼・湿地、社寺林、人工林、その他(竹林)																			
自然条件	地	形	<p>地形はほぼ三角形。南部は東西に伸び、北に進むにつれて狭くなっている。東南の一部を除いて、三方を山に囲まれている。特に西北群境は標高400～500mの山岳が連なり、東南に向かってなだらかになって平地に続く。</p> <p>河川は、町の西北部に源があり、山間渓谷を経て別府川及び前郷川となって、市街地を挟むような形で流れている。下久徳字岩迫で本流と合流して錦江湾に注いでいる。</p>		 <p>撮影時期：2008年11月 ホタルが生息する小川と田んぼが広がる尾根沿いにはクマタカが生息</p>																		
	植	生・生物等	<p>推定樹齢約1500年の日本一の巨樹「蒲生のクス」。</p> <p>ヒメボタルなども生息している。</p>																				
社会条件	人	口(市町村)	74,817人(農家率7.39%、副業的兼業農家が多い) 始良市のデータ(H22年)																				
	土	地	利	用	市総面積の8.1%が田畑、65.0%が山林である。 始良市のデータ(H22年) 対象地区は、竹林、照葉樹林、人工林等多様な森林の盆地状の中央部分の平地に田畑、その境に人家が点在する里山。																		
	歴	史・文化	<p>蒲生町は県下でも数少ない薩摩古流の兵法に基づく美しい町割の残っている自然豊かな歴史ある町である。対象集落では、集落史が作成されている。</p> <p>蒲生町内では漆地区だけに伝承されている「バラ踊り」という伝統芸能が存在する。これは約400年もの歴史をもつもので、秀吉の朝鮮出兵時の凱旋祝いとして漆の従軍者に踊らせたものとされており、今日では漆小学校で郷土教育の一環として取り入れられ、地域住民と学校が一体となって継承している。</p>																				
法 指 定 、 行 政 に よ る 評 価 の 状 況	自	然	環	境・景	観	保	全	や	国	土	保	全	に	関	わ	る	地	域	指	定	等	該当なし	
	す	ぐ	れ	た	自	然	、	景	観	、	伝	統	文	化	な	ど	と	し	て	の	選	定	環境省「モニタリングサイト1000 里地調査」のコアサイトに選定

取組主体	タイプ	NPO企業等：NPO・企業・学校等地域の外からの参加者が中心となった取組		
	主な主体	名称	概要	
		NPO法人 くすの木自然館 NACS-J、うるし作人塾	環境調査の生きたデータベースを元に、環境教育を進める調査・研究・教育・環境保全活動を行う専門機関である「くすの木自然館」が、NACS-Jやうるし作人塾とともに取組を進めている。	
経緯	その他の主体としてバラ踊り保存会(小学校PTA)が、漆小学校において全児童に加え教職員も一緒になり継承活動に努め、毎年10月第1日曜日の漆小学校運動会では、漆バラ踊りを地域住民に披露している。			
支援措置	該当なし			
取組の目的・目標	環境教育を通じて豊かな郷土の風土(自然・文化・生活)を後世に良い状態で継承していくための環境保全・風土継承活動を進めている。(くすの木自然館)			
取組分野内容	農林業を通じた里山や草地の利用(管理)の維持・活性化	有機農業を推進しながら、放棄耕作地の活用など、放棄地を減らす努力及び動植物への影響を軽減する農業を取り組んでいる。		
	バイオマスなど新たな資源としての利用	【対象となる資源】 該当なし		
	環境教育や自然体験、エコツアーリズムの場としての利用	自然観察会	植物・野鳥・カエル・その他さまざま開催中	
		環境教育・学習活動	漆小学校での環境学習、一般に対しての環境調査学習会	
		里地里山体験・環境保全	里山自然学校	
		農林業体験活動	田植え～稲刈り、収穫祭	
		エコツアー	野草を食べる会、里山自然学校	
		その他		
	野生動植物やその生息地の保全・管理	2007年度から環境省「モニタリングサイト1000里地調査」のコアサイトとして、植物相・鳥類・哺乳類・水環境・ホタル類・カエル類などモニタリング調査を開始している。		
	地域の良好な景観の保全・修復	該当なし		
里地里山の伝統的な生活文化の知恵や技術の継承	対象	生活行事	【文化財指定】	
		資源利用技術		
		その他		
該当なし				
連携・協働	<p><取組> モニタリングサイト1000 コアサイトとしての環境調査活動、漆小学校での鳥類調査活動、漆小学校での環境教育。これらの取り組みは総合的に連携しながら様々な主体が、環境調査や環境教育・自然体験、環境保全活動に取り組んでいる。</p> <p><役割></p> <p>住民：主体的参加</p> <p>小学校：児童とともに積極的な参加・取り組み</p> <p>うるし作人塾：地域内外の参加者を募り底辺を固め農業等とのルート形成</p> <p>環境教育NPO法人くすの木自然館：全体コーディネートや地域づくり提案・調査協力</p> <p>専門家：観察会や調査活動への協力</p>			



撮影時期：2004年3月
集落の中央に広がる田畑で遊ぶ子どもたち

撮影時期：

景観としての
利用・評価

不明

取組の特徴

集落が一体となって里山の保全・利活用を推進、地域の貴重な里山環境が維持されている。
地元農家は有機農業を推進しながら放棄地を減らす努力をし、地区の小学校では児童とともに鳥類調査や環境教育に積極的な参加・取組を行っている。NPOは、自然観察会、一般に対しての環境調査学習会、里山自然学校、農業体験として田植え～稲刈り、収穫祭等をコーディネート。地元農家や小学校を巻き込んだ生態系調査には専門家の協力も得ている。

【参照資料】

ゆっくり悠遊観光鹿児島 HP (<http://www3.pref.kagoshima.jp/kankou/>)

鹿児島県 HP (<http://www.pref.kagoshima.jp/>)